

たまたま、が、きっかけになる

生田目 彩花さん



フェリス学院大学文学部
コミュニケーション学科 2
年。最近、いろんな活動に取り組み始めて、活動がとても楽しい、という、生田目 彩花（なまため あやか）さんから話を伺いました。

活動のきっかけは NPO インターンシップ

今、「アクションポート横浜」や、「神奈川子ども未来ファンド」でボランティアをしています。そのきっかけは、「アクションポート横浜」が主宰している NPO インターンシップ*1でした。そこでインターン先に選んだのが「神奈川子ども未来ファンド」でした。

たまたま時間が空いたので参加した、大学内でのインターンシップ説明会で NPO に興味を持ち、学生がインターン先を選ぶ「お見合い会」に参加しました。インターンを受け入れてくれる NPO の方々が、自分の活動を PR するのですが、そこで NPO の方々の仕事に対する熱意を感じ、実際に体験してみたいと思いました。

その「お見合い会」で神奈川子ども未来ファンドを選んだのは、プレゼンテーションをした方に魅力を感じたからです。非常にパワフルで、この人のそばで働きたいと思いました。また、子どもたちを応援している団体に助成をする、中間支援組織*2とは実際にどのような活動をしているのか知りたいと思いました。

*1 NPO インターンシップ：学生が一定期間 NPO で研修生として活動を体験できる制度。

*2 中間支援組織：市民活動や NPO の活動支援を行う組織。

初ボランティアは、知的障がいのある子どもとの遊び

最初にボランティアをしたのは、中学生のときです。知的障がい児支援のボランティアを募集していて、クラスの友人と参加を決めました。経験がないのでできるかなと悩みましたが、一緒に遊んだらすごく楽しかった。実は実家の隣に知的障がいのあるお兄さんが住んでいて、子どもの頃は、付き合い方がよくわかりませんでした。でも実際に子どもたちと遊んだらとても楽しくて、障がいについて考えてみることができました。だから、そのボランティアを試してみようと思ったきっかけは、隣の家に住んでいたお兄さんのことが少し気になっていた、ということがあるかもしれません。

また、両親がずっとボランティアをしていたこともあり、ボランティアをしている人たちは皆楽しそうだなと思ったこともボランティアを行うきっかけの一つだったと思います。

大学に入ってから、特別支援学校でのボランティアや、被災地への毛布運びもやりましたし、不登校の子どもたちの寄宿生活サポートボランティアもしました。それらはとてもおもしろく、今でもよい思い出となっています。継続につながらなかったのは、一度で満足感のようなものを味わってしまったということと、はじめからやるのがしっかりと決められているので、自分で考えて動くという機会が少なく、物足りなかったのかなと、今になって思います。

神奈川県子ども未来ファンドとアクションポート横浜

「神奈川県子ども未来ファンド」自体は直接子どもと接する、現場型の活動をしているわけではありません。お金を預かり、そのお金と想いを現場で活動している団体に届けています。

イベントで多くの方に子どもについて関心を持ってもらえるよう、情報を発信することも重要な仕事です。「神奈川県子ども未来ファンド」のインターンシップ期間は終わりましたが、今も学生のイベントチームの一員として関わっています。イベント企画のお手伝いをしたり、助成団体を訪問して、活動の様子をブログで情報発信することもあります。

また、「アクションポート横浜」も中間支援組織ですが、多様な組織との連携がテーマで、企業とNPOをつなぐプロジェクトや学生がNPOに参加しやすくするためのインターンシップなど、NPOの基盤整備に取り組んでいます。

横浜サンプラザプロジェクトの学生企画担当のほか、NPOインターンシップのお手伝いなど、まんべんなく携わっています。

二つの団体とも、たくさんのボランティアを受け入れているので、いろいろな人たちと知り合うことができます。どちらも主体的に活動させてもらっているため、やりがいを感じています。

インターンシップは参加しやすい

インターンシップは10日間の活動という期間限定なので、ちょっと参加しようかな、という人にとって気軽に参加しやすいと思います。私も、とりあえず参加してみよう、と思ったことが、今、形になっています。「子ども未来ファンドのボランティ



<神奈川県子ども未来ファンドのイベントにて>



<アクションポート横浜学生チームの企画会議>

ア募集!」「アクションポート横浜のボランティア募集!」だったら、行かなかったかもしれない。たまたま、というのがきっかけになることもあるのだな、と感じています。だから、期間限定というのは一歩踏み出すことに慎重になっている人にとって、ハードルを低くする良い仕組みだと思います。

NPOの人と直接会って話を聞ける「お見合い会」という仕組みもすごく良いと思います。

「お見合い会」で実際にNPOの人と会ってみると、「行ってみよう!」が「行きたい!」という気持ちになります。フェリス女学院大学から参加したメンバーも、担い手として楽しんで活動しています。

忙しいけど、大変ではない

ボランティア以外では、大学の「学友会」という学生代表の執行委員会にも入っています。大学行事である文化祭や卒業式・入学式シーズンは、イベントのサポートや大学との調整などで特に忙しいです。

だから、最近は本当に忙しい。授業とボランティア、学友会の活動で、スケジュール帳は真黒。毎日走っています。自分のことをやる時間がないのが悩みではありますが、活動をしていて辛いとか、大変だなと思うことはありません。やっていてとても日々が充実しています。

一番楽しいのは、学生生活だけでは会えないような、価値観の異なるさまざまな人たちに出会えること。企業の人や他の大学の人、他のNPOで働く人、地域のボランティアで活動している人、ハンディのある子どもたちなどいろいろな人に出会える。それが特別な場所でなく、普通に会えるというのが面白いなと思います。

まだ、「これをやりとげた」というものはありませんが、皆が出会える場所をつくらせている、という思いはあります。繋がる場所をつくる活動の一員になっているなど感じられることが嬉しいです。基本的に、私は人がすごく好きです。だから、いろいろな人に会えて、刺激をもらい、最近私はますます元気!なのです。

つなぐ職につきたい

今、やっていることが将来役に立つかということ、そのまま役立つかは、わかりません。でも、いろいろな人に出会ったり、いろんな場所に行ったりすることは、必ず役に立つと思います。卒業後は多くの人と出会えたり、人と人をつないだりする職業につければと思います。

というと、よく「NPOに就職したい?」と聞かれるのですが、NPOに就職しようと



<NPO インターンシップ報告会の様子>



<イベントでのボランティアの様子>

いう考えには少し違和感があります。大事なことは何をするのか、ということだと思えます。自分がしたいことが、たまたま NPO の活動だったということで NPO での理想の働き方なのかなと考えるようになりました。NPO のスタッフは皆忙しそう。でも、皆すごく輝いています。仕事に対する想いが熱い。学生は熱いね、と言われることもあります。NPO のスタッフの方が熱いかもしれないと感じます。お金のためじゃないということが伝わってきます。でも、NPO 側にいるとたしかにお金の面で悩んでいるということわかるので、支援があったらいいな、と思います。

すぐ主役になれるのが NPO

まだ活動していない人に対しては、「とにかく楽しいよ！」と、いうことを伝えたいです。多くの人に知ってもらいたいという気持ちで、横浜サンプラザプロジェクトの学生企画に、友達を誘ったりしています。そこでまた友達が、楽しそうに活動している姿を見て、嬉しいなと感じます。

NPO の面白いところは、そこに入ると自分の役割が与えられることです。もともと出来ているところで仕事を与えられるのではなく、すぐ主役になって動くことが出来る。人から命令されるのではなく、中心になれる、のはやりがいがあります。だから、私も「ああ、また忙しくなる。」と思いつつも、活動に夢中になってしまいます。

私は、前よりも悩みはなくなりました。それは時間がないからかもしれません。でも、悩んでいる暇があったら、失敗を生かしてどんどん活動していきたいと思っています。

想いを形にしていきたい

たまたまインターンシップに参加して、いろいろな人に出会えました。今後もその延長で、就職しても、ボランティアは続けていきたいと思っています。

今、同じアパートにおばあさんが一人で暮らしていて、ゴミ出しとか、簡単なお手伝いをしています。NPO でボランティアを体験して、NPO は想いを形にしていくツールだと学びました。NPO に来る前だったら、私とおばあさんだけの関係で終わっていたかもしれません。でも、NPO に来た今は、みんなで何か彼女のためにできないかという思いになっています。その想いを形にしていくことができれば、と思います。

編集後記 生田目さんは、取材中、ずっと楽しそうにお話をしてくださいました。「たまたま」NPO インターンシップに参加したことが、活動の「きっかけ」になったそうですが、お話を聞いていると、身近にいる人がボランティア活動をしていたことが、自然に活動を始められたことにつながったのではないのでしょうか。

◆団体概要

NPO 法人アクションポート横浜 <http://actionport-yokohama.org/>

横浜市の活性化をテーマに企業、教育機関、行政、NPO などをつなげ、様々な取り組みや支援を行う。企業や市民、大学生が参加する「横浜サンプラザプロジェクト」や大学や市内 NPO と連携し、大学生がインターン活動を行う「NPO インターンシップ事業」などを展開している。

認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンド <http://www.kodomofund.com/>

子ども・若者のいのちを守り、子育てを社会で応援するための仕組みとして、NPO が集まり設立した全国初の市民基金。市民、企業、組合等の協力を得て寄付を募り、神奈川県内の NPO へ公募選考を経て助成を行っている。